

コミュニティ・スクール絹

小山市立絹義務教育学校 地域連携部

第1号

コミュニティ・スクールが始まりました

本校では、4月の開校に併せて、小山市教育委員会よりコミュニティ・スクールの指定を受けました。昨年度までの2年間にわたり、旧梁小学校が県内初となる指定を受けて取り組んでいましたので、コミュニティ・スクールについて、すでにご存知の方もいらっしゃるかと思います。しかし、絹地区全体では初めてのことでありますので、改めてコミュニティ・スクールについてご紹介いたします。

コミュニティ・スクールとは

学校運営協議会制度を導入した学校のことを指します。学校運営協議会には、主として次のことを行う権限があります。

- ①校長が作成する学校運営方針の承認をすること
- ②学校運営について、教育委員会または校長に意見を述べるができること

つまり、学校と地域住民や保護者が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる制度です。この制度を導入することにより、絹地区ならではの創意や工夫を生かした特色ある学校づくりを進め、よりよい教育の実現を図ることができます。そのためには、保護者のみならず地域の皆様のご理解とご協力が欠かせないのです。

学校運営協議会委員

- 会長 U・Y氏（元中一貫推進委員長）
- 副会長 W・N氏（前期保護者）
- 副会長 N・K氏（前公民館長）
- 委員 I・H氏（前絹地区自治連会長）
- 委員 Y・T氏（絹地区社協会長）
- 委員 O・K氏（農園ボランティア）
- 委員 T・A氏（元小学校長）
- 委員 T・H氏（元市消防団副団長）
- 委員 M・T氏（PTA会長）
- 委員 中島 利雄校長

学校運営協議会

- ・校長の学校運営を応援
- ・地域のニーズに応える学校づくり

地域学校協働本部

- ・保護者、地域住民、企業、NPO等
- ・地域の人々が学校と連携・協働して、子どもの成長を支え、地域を創生



学校支援ボランティアを募集しています

本校では、子どもたちへのよりよい教育を目指して、様々な行事や活動、工夫した授業の取組を行っておりますが、より充実した内容にするためには、ボランティアの方のご協力が欠かせません。また、学校を子どもたちの学舎として、よりよい環境にしていくことも大切です。

そこで、教育活動や環境整備の支援をしてくださる「学校支援ボランティア」として、地域や保護者の皆様のお力をお借りしたいと思っております。

ご協力いただける方は、お電話、メール、ファックスのいずれかの方法で、ぜひ学校までご連絡いただけますようお願い申し上げます。

小山市立絹義務教育学校

〒323-0155 小山市福良2240-1

電話 0285(49)0141

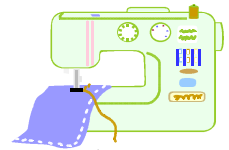
ファックス 0285(49)2764

E-メール kinugimu@oyama-tcg.ed.jp

(お問合せ先：教頭 鈴木勝己)

【学校支援ボランティアの例】

- ① 図書ボランティア
 - ・本の修理・整頓、図書室の環境美化
- ② 農園ボランティア
 - ・農園の耕し、野菜の育て方の指導
- ③ 田んぼの学校ボランティア
 - ・田植え、稲刈り、生き物調査の手伝い
- ④ 樹木剪定ボランティア
 - ・樹木の剪定
- ⑤ 花壇ボランティア
 - ・花壇の手入れ、除草
- ⑥ ミシンボランティア
 - ・家庭科の授業で子どもたちがミシンを扱うときの手伝い
- ⑦ 託児ボランティア
 - ・PTAの会合等で保護者が来校している間の児童の見守り



上記以外にも、校外学習の見守りや昔遊び等、学習や環境整備のお手伝いをいただけたら、よろしくお願いたします。たくさんの方からのご連絡をお待ちしております。

ファックス用 (このまま送信してください。0285(49)2764)

小山市立絹義務教育学校 宛

【学校支援ボランティア申込書】

ご協力いただける方のご氏名 _____

ご住所 小山市 _____

電話 _____

ご協力いただける活動内容 (_____)

連絡できる児童生徒名 (_____ 年 _____)

(近所にいなければ、記入されなくても結構です。)